



平成 25年 3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24年 11月 5日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社** 上場取引所 大阪・東京 各第一部

コード番号 4528 URL(<http://www.ono.co.jp/>)

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)相良 暁

問合せ先責任者 (役職名)広報室長 (氏名)谷 幸雄 TEL(06)6263-5670

四半期報告書提出予定日 平成 24年 11月 14日 配当支払開始予定日 平成 24年 12月 3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25年 3月期第2四半期の連結業績(平成 24年 4月 1日～平成 24年 9月 30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	71,111	1.3	17,506	△1.0	18,952	△1.2	11,072	32.1
24年3月期第2四半期	70,170	10.0	17,678	35.0	19,191	29.9	8,382	△10.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 9,794百万円(2.6%) 24年3月期第2四半期 9,543百万円(354.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	104.44	—
24年3月期第2四半期	79.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	430,037	401,207	92.6	3,754.53
24年3月期	436,413	400,968	91.2	3,753.04

(参考) 自己資本 25年 3月期第2四半期 398,044百万円 24年 3月期 397,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
25年3月期	—	90.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25年 3月期の連結業績予想(平成 24年 4月 1日～平成 25年 3月 31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	146,200	0.3	32,700	△13.7	34,100	△15.7	23,000	△5.6	216.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年 3月期2Q	117,847,500株	24年 3月期	117,847,500株
25年 3月期2Q	11,830,165株	24年 3月期	11,828,952株
25年 3月期2Q	106,017,896株	24年 3月期2Q	106,020,416株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料6ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①当第2四半期累計期間における業績の概要

当第2四半期累計期間における国内医薬品市場は、4月からの薬価引き下げと新たな後発医薬品使用促進策の実施などによる医療費抑制政策の強化が進み、厳しい事業環境が続いています。こうした中で当社グループは、革新的な新薬開発と製品価値の更なる向上を目指し、世界最先端の知見・技術の活用も含めた研究開発体制の一層の強化と主要製品を中心とした学術情報活動の充実を図るとともに、経営全般にわたって効率化に努めました。これらの結果、当第2四半期の業績は以下の様になりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率(%)
売上高	70,170	71,111	941	1.3%
営業利益	17,678	17,506	△172	△1.0%
経常利益	19,191	18,952	△239	△1.2%
四半期純利益	8,382	11,072	2,689	32.1%

(売上高)

売上高は前年同期比9億円(1.3%)増加の711億円となりました。

- ・薬価の引き下げや後発品使用促進策の影響を受けて長期収載品は減少しましたが、講演研究会、説明会など、引き続き積極的な情報提供活動を進め、主要新製品が増加しました。
- ・新製品では、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は着実に売上を伸ばし170億円(前年同期比+32.9%)となり、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」「プロイメンド点滴静注用」も39億円(同比+24.6%)となりました。
- ・また本年8月に投薬期間の制限が解除されたアルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は17億円(同比+308.3%)、昨年9月に4週に1回服用する50mg製剤を発売した骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」は33億円(同比+155.1%)となりました。
- ・長期収載品の主要製品では、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は174億円(同比△13.4%)、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」は71億円(同比△19.0%)、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」は46億円(同比△21.5%)となりました。

(営業利益・経常利益)

営業利益は前年同期比2億円(1.0%)減少の175億円、経常利益は前年同期比2億円(1.2%)減少の190億円となりました。

- ・売上原価は前年同期比28億円(20.7%)増加の163億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、前年同期比17億円(4.3%)減少の373億円となりました。
- ・研究開発費は前年同期比13億円(5.8%)減少の208億円となりました。
- ・なお販売費及び一般管理費の実績は、期初予想を29億円(研究開発費が25億円、営業関連経費が4億円)下回りましたが、予定分は第3四半期以降の計上を計画しておりますので、通期では予想額に変更はありません。

(四半期純利益)

四半期純利益は前年同期比27億円(32.1%)増加の111億円となりました。

- ・株価の下落により、投資有価証券評価損を16億円計上(前年同期は39億円計上)しました。

②研究開発活動

当社グループは、「真に患者さんのためになる医薬品を開発して社会に貢献する」ことを研究開発理念とし、これまで克服されていない病気や、いまだ患者さんの治療満足度が低く、医療ニーズの高い疾患領域に挑戦し、独創的かつ画期的な医薬品の創製に向けて努力を積み重ねています。

現在、開発パイプラインには、抗体医薬品を含む抗がん剤、がん悪液質の治療薬、オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘の治療薬など、がん治療およびその支持療法の領域の新薬候補化合物をはじめ、多発性硬化症や関節リウマチの治療薬候補などがあり、早期の上市に向けて開発を進めています。

なかでも、がん治療およびその支持療法の領域はアンメットニーズが高いことから、当該領域を新たな戦略分野と位置づけ、支持療法を含むがん患者さんの包括的薬物治療への貢献を目指します。

今後も国内外での世界最先端技術を活用した独創的かつ画期的な医薬品の創製を目指すとともに、ライセンス活動による有望な化合物の導入などにより、質の高い新薬候補化合物の拡充にも努めるなど、研究開発活動の一層の強化に取り組みます。

当第2四半期累計期間における研究開発活動の主な成果（前期末決算発表以後、本年11月上旬までのものを含む）は、以下のとおりです。

[開発品の状況]

<国内>

- ・ 本年5月、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は、用法変更を目的としたフェーズⅢ試験を開始しました。
- ・ 本年5月、 κ オピオイド受容体作動薬「ONO-3951」は、過敏性腸症候群を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。
- ・ 本年6月、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐の治療剤「イメンドカプセル」は、小児での効能追加の製造販売承認を取得しました。
- ・ 本年6月、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐の治療剤「プロイメンド点滴静注用」は、小児を対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。
- ・ 本年6月、肝細胞がん治療薬、ペプチドワクチン「ONO-7268MX1」は、フェーズⅠ試験を開始しました。
- ・ 本年7月、関節リウマチ治療剤「ONO-4164SC」は、皮下投与での剤型追加の製造販売承認申請をしました。
- ・ 本年8月、グラクティブ錠は、重度腎機能障害のある患者への投与を可能とするために12.5mgの剤型追加の製造販売承認申請をしました。
- ・ 本年9月、GABA_A受容体作動薬「ONO-2745」は、全身麻酔を対象としたフェーズⅡ/Ⅲ試験を開始しました。
- ・ 本年9月、GABA_A受容体作動薬「ONO-2745」は、ICU鎮静を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。
- ・ 本年9月、カルシウム受容体作動薬「ONO-5163」は、二次性副甲状腺機能亢進症を対象としたフェーズⅠ/Ⅱ試験を開始しました。
- ・ 本年9月、慢性心不全治療薬、Ifチャネル阻害薬「ONO-1162」は、フェーズⅠ試験を開始しました。
- ・ 本年10月、完全ヒト型抗PD-1抗体である「ONO-4538」は、腎細胞がんを対象としたフェーズⅢ試験（国際共同治験）を開始しました。

<海外>

- ・ 本年6月、完全ヒト型抗PD-1抗体「ONO-4538/BMS-936558」について、第48回米国臨床腫瘍学会（American Society of Clinical Oncology：ASCO）において、非小細胞肺癌、転移性悪性黒色腫、腎細胞がんを対象とした米国第Ⅰ相臨床試験の成績を公表しました。また、同様の成績が New England Journal of Medicine（NEJM）にも掲載されました。
- ・ 本年7月、プロスタグランジン受容体（EP1）拮抗薬「ONO-8539」は、胃食道逆流症を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。
- ・ 本年7月、米国においてオニキス社は、次世代プロテアソーム阻害剤「カーフィルゾミブ」（ONO-7057）について、再発又は難治性の多発性骨髄腫を適応として迅速承認を取得しました。
- ・ 本年9月、低活動膀胱治療薬、プロスタグランジン受容体（EP2/EP3）作動薬「ONO-8055」は、フェーズⅠ試験を開始しました。
- ・ 本年9月、プロスタグランジンD2受容体拮抗薬「ONO-4053」は、アレルギー性鼻炎を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。
- ・ 本年10月、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社は、完全ヒト型抗PD-1抗体である「ONO-4538/BMS-936558」の腎細胞がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。
- ・ 本年10月、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社は、完全ヒト型抗PD-1抗体である「ONO-4538/BMS-936558」の非小細胞肺癌を対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

[提携活動の状況]

- ・ 本年5月、独スキルプロテインズ社と、タンパク質医薬品の創製に関する創薬提携契約を締結しました。
- ・ 本年5月、英バイオフォーカス社とアレルギー性疾患領域における新規創薬標的の探索について共同研究契約を締結しました。
- ・ 本年9月、英バイオフォーカス社と、中枢神経疾患領域における新薬候補化合物の創製を目指した創薬提携契約を締結しました。
- ・ 本年10月、仏ドメイン社と、GPCR領域における新薬候補化合物の創製を目指した創薬提携契約を締結しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	前期末	当第2四半期末	増減額
総資産	436,413	430,037	△6,375
純資産	400,968	401,207	238
自己資本比率	91.2%	92.6%	—
1株当たり純資産	3,753.04円	3,754.53円	1.49円

総資産は前期末に比べ64億円減少して4,300億円となりました。

流動資産は、現金及び預金が前期末に比べ45億円減少した一方で有価証券が81億円増加したことなどから29億円増加し、2,051億円となりました。有価証券の増加は、投資有価証券に計上していた債券について、投資期間経過に伴い、償還までの期間が9月末で1年以内となった債券を有価証券に振り替えたことなどによります。

固定資産は、投資有価証券が前期末に比べ84億円減少したことなどから93億円減少し、2,249億円となりました。

負債は、前期末に比べ買掛・未払債務が31億円、未払法人税等が27億円減少したことなどから66億円減少して288億円となりました。

純資産は、前期末に比べ2億円増加し4,012億円となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額
現金及び現金同等物期首残高	82,577	85,066	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,611	9,773	△3,837
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,067	4,813	△1,254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,533	△9,260	273
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△89	△94
現金及び現金同等物の増減額	10,150	5,237	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,727	90,304	—

営業活動により獲得したキャッシュ・フローは、98億円の収入（前年同期比38億円収入の減少）となりました。法人税等の支払90億円などのキャッシュの減少要因があった一方で、税金等調整前四半期純利益175億円などのキャッシュの増加要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、48億円の収入（前年同期比13億円収入の減少）となりました。有形固定資産の取得による支出が20億円あった一方で、有価証券及び投資有価証券の取得と償還で差し引き69億円の収入がありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、93億円の支出（前年同期比3億円支出の減少）となりました。長期借入による収入が3億円あった一方で、配当金の支払い95億円などがありました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末に比べて52億円増加し、903億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成24年5月9日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産(機械装置を除く)については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

当社は従来、機械装置の耐用年数を8年として減価償却を行ってきましたが、第1四半期連結会計期間より、耐用年数を15年に見直し、将来にわたり変更しております。この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,959	16,473
受取手形及び売掛金	37,853	35,199
有価証券	104,813	112,956
商品及び製品	13,210	15,751
仕掛品	2,578	2,210
原材料及び貯蔵品	2,848	3,311
その他	19,977	19,213
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	202,235	205,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	66,173	66,701
減価償却累計額	△43,529	△44,372
建物及び構築物 (純額)	22,643	22,328
機械装置及び運搬具	15,783	15,929
減価償却累計額	△14,083	△14,298
機械装置及び運搬具 (純額)	1,700	1,630
土地	22,549	22,543
建設仮勘定	261	658
その他	9,810	9,771
減価償却累計額	△8,985	△8,909
その他 (純額)	824	861
有形固定資産合計	47,979	48,022
無形固定資産		
その他	994	1,142
無形固定資産合計	994	1,142
投資その他の資産		
投資有価証券	168,690	160,338
その他	16,520	15,432
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	185,203	175,762
固定資産合計	234,177	224,926
資産合計	436,413	430,037

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,767	4,141
1年内返済予定の長期借入金	1	101
未払法人税等	8,875	6,202
引当金	5,858	5,559
その他	10,538	8,535
流動負債合計	31,041	24,540
固定負債		
長期借入金	11	185
退職給付引当金	1,577	1,281
その他の引当金	82	93
資産除去債務	53	53
その他	2,679	2,676
固定負債合計	4,403	4,290
負債合計	35,445	28,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,079	17,079
利益剰余金	425,787	427,318
自己株式	△59,204	△59,210
株主資本合計	401,021	402,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,725	4,484
土地再評価差額金	△8,577	△8,577
為替換算調整勘定	△277	△408
その他の包括利益累計額合計	△3,129	△4,501
少数株主持分	3,076	3,162
純資産合計	400,968	401,207
負債純資産合計	436,413	430,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	70,170	71,111
売上原価	13,494	16,282
売上総利益	56,675	54,829
販売費及び一般管理費		
研究開発費	22,119	20,837
その他	16,877	16,485
販売費及び一般管理費合計	38,996	37,322
営業利益	17,678	17,506
営業外収益		
受取利息	586	432
受取配当金	963	1,015
その他	292	276
営業外収益合計	1,843	1,724
営業外費用		
支払利息	0	0
寄付金	178	143
為替差損	39	97
その他	111	36
営業外費用合計	330	278
経常利益	19,191	18,952
特別利益		
投資有価証券売却益	—	127
特別利益合計	—	127
特別損失		
投資有価証券評価損	3,853	1,605
特別損失合計	3,853	1,605
税金等調整前四半期純利益	15,338	17,474
法人税等	6,781	6,307
少数株主損益調整前四半期純利益	8,556	11,166
少数株主利益	173	94
四半期純利益	8,382	11,072

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,556	11,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	985	△1,242
為替換算調整勘定	2	△131
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
その他の包括利益合計	987	△1,371
四半期包括利益	9,543	9,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,366	9,700
少数株主に係る四半期包括利益	176	94

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,338	17,474
減価償却費	1,422	1,332
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	361	△296
受取利息及び受取配当金	△1,550	△1,448
支払利息	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	35	△127
投資有価証券評価損益(△は益)	3,853	1,605
売上債権の増減額(△は増加)	1,201	2,650
たな卸資産の増減額(△は増加)	△542	△2,635
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,412	△1,677
その他	1,025	346
小計	19,732	17,226
利息及び配当金の受取額	1,646	1,545
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△7,767	△8,997
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,611	9,773
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△17,195	△10,115
有価証券の売却及び償還による収入	37,090	25,478
有形固定資産の取得による支出	△1,067	△1,978
投資有価証券の取得による支出	△12,845	△8,668
投資有価証券の売却及び償還による収入	176	217
その他	△90	△121
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,067	4,813
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△0	△25
自己株式の取得による支出	△5	△5
配当金の支払額	△9,523	△9,525
少数株主への配当金の支払額	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,533	△9,260
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△89
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,150	5,237
現金及び現金同等物の期首残高	82,577	85,066
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,727	90,304

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。